

## 令和2年度 第5回牧之原市図書館協議会会議録

1 開催日時 令和3年3月25日(木) 午後1時45分～午後3時15分

2 開催場所 牧之原市役所相良庁舎 3階第1・2会議室

3 出席者

【牧之原市図書館協議会委員】(1名欠席)

岩崎	陽子
大石	武晴
佐藤	寛
杉本	公恵
鈴木	善彦
武田	てるみ
水嶋	みゆき

【事務局】

教育長	橋本 勝
教育文化部長	内山 卓也
社会教育課長	八木 康仁
社会教育課社会教育係	永野 敦嗣
牧之原市立図書館長	杉村 明彦
社会教育課社会教育係主任	水野 秀信
社会教育課社会教育係主事	森川 崇之

4 傍聴者 4名

5 議題

【報告】

- ①開館準備の進捗状況について
- ②牧之原市立図書館条例施行規則の改正について

◎事務局説明要旨

- ・開館準備がどのように進んでいるか説明。続けて、牧之原市立図書館条例施行規則の

改正案について説明。

◎委員からの主な意見

(委員) 利用者カードの作成に身分証が必要なのか。また、代理人でも作れるのか。

(市回答) 利用者カード作成時に、免許証や保険証等の名前、住所、生年月日を確認できるものを提示いただく。小学生までは保護者が代理に作成することが可能。中学生以上は本人の来館を求めているが、障害等により来館が困難な場合は代理人による申請ができる。

(委員) ホームページから検索や予約ができるようになるのか。

(市回答) 検索は誰でもできるが、予約は利用者カードが必要。現在ホームページを準備しているところで、開館日には検索や予約ができるようになる。

(委員) 開館準備サポーターについて。いこっとでの作業が夢のようだとおっしゃる人がいた。

(委員) 利用者カードの事前登録者数が伸び悩んでいるについて、紙媒体では見ない人がいる。今後どのような情報発信をしていく予定があるか。旧カードを持っていて更新していない人が多いのではないか。

(市回答) 紙媒体だけでなく、SNSの活用等、幅広く情報発信をしていく。

(委員) 登録者数を増やすために、学校の授業で使うのはどうか。

(委員) 榛原地区の市民には情報が届きづらいので、町会で班長に登録について話してもらうのはどうか。

(市回答) 地区長会等での情報発信も検討する。

(委員) 榛原からではアクセスが良くない。子どもが行くためには親の協力が必要なので、親世代に向けて懇談会、PTA総会での周知が必要ではないかと感じる。

(委員) 施行規則第9条3項の利用の停止について「当該利用者に対し」と入れたほうがよいのではないか。資料と利用者のどちらの話なのかわかりづらい。

(委員) 施行規則で館長の権限、と出てくる。決定権は館長にあるか。ボランティアが図書館にいる館長に判断をしてもらえるようにしてほしい。

(市回答) 次年度新体制になる中で、権限をどうするか等協議の上決めていくので、しばらく時間をいただきたい。

(委員) 館内の写真撮影はPRにもなるので、一部は撮ってもいいようにしてほしい。

(市回答) 他の利用者のプライバシー等もあるので、館長の許可を得た上で撮影してもらおう。

③令和3年度図書館事業について

◎事務局説明要旨

- ・令和3年度の人員体制や予算、事業の案について説明。

◎委員からの主な意見

(委員) 図書係ができたことや専門職採用があり、とても嬉しい。

(委員) 係長と館長の役割分担はどのようになっていくのか。

(市回答) 新しく係ができ、図書交流館内で職員が事務を行うので、しっかりと情報共有していきたい。細かな分担については今後決めていく。

(委員) 協議会の中で資料、人員の充実が不可欠であることが議論されてきた。令和3年度は新体制になるが、今後も資料費の確保や市民からの寄贈受入に努めてほしい。

(委員) 来年度、新聞が1誌になってしまうことは不満を感じる。協議会でも複数紙との意見が以前からあり、雑誌を減らしてでも再考してほしい。

(委員) 利用者としては、複数の新聞がなければ正確性にかけるのではないか。いこつとと榛原図書館の差が大き過ぎると感じる。

(市回答) 複数紙の新聞が購入できるよう予算の要望はしてきたが、来年度に限って言うところの影響もあり、極めて厳しい予算となった。今後も要望は続けていく。

(委員) 資料が充実しなければ利用者は離れてしまうので、にぎわいの創出のためには、継続した資料費の増額が必要。

(委員) 利用者が買ってほしい本があるときはどのようにしたらよいか。

(市回答) 市内に所蔵がない場合はリクエスト制度を利用して借りることができる。購入の検討をし、購入できない場合は他市町図書館から借りることもある。

(委員) 選書は協議会で協議するのか。

(市回答) 選書は協議会に諮ることはなく、職員が行う。

(委員) 川崎小では子ども読書週間に家庭読書をアピールしていきたい。市立図書館とも連携していきたい

(委員) いこつとの雑誌のタイトルが大幅に増えるが今後も維持できるか。

(市回答) 来年度も維持できるよう、予算確保の努力を続けていく。

(委員) 雑誌スポンサーの企業名や個人名を強くアピールしてほしい。初めてでもやってみたいと思えるような仕組みを作してほしい。

(委員) 市民がいこつとで何かの活動をしたい、と思ったときは誰に相談をすればよいか。市民への企画募集等をするのは考えているのかも教えてほしい。

(市回答) 民間側に広いオープンスペースがあるので、図書館に相談をしてもらえれば紹介をする。

◎全体を通して、委員からの意見

(委員) 図書館基本計画に掲げた、障害者サービスはどのようになっているか。

(市回答) いこつとでは、文章だけでなくピクトサインが多く案内として出した。通路

は車いすが通れる広さを確保している。また、両館に筆談ボードを備え付ける。

(委員) いこっと開館の式典はどうなるか。協議会の委員は出席するのか。

(市回答) 開館式について現在検討中。コロナ対策等のこともあり、開催規模について確定していないが、4月1週目に結論を出す予定。それにより出席者が変わる。

以上

※図書館協議会閉会后、図書館協議会委員はいこっとの見学を実施